

奈良社寺案内  
散策&観賞

# 奈良

大和路  
編

古都の美術・歴史を訪ねて



最新版

主要掲載物件111件  
自主研修・事前学習  
に最適

**New!** 新スポット追加 **なら歴史芸術文化村**

豊富な写真・図版建築・彫刻・絵画・史跡などを軸に記述

奈良県主要鉄道路線図…………… 1  
 目次…………… 2  
 序にかえて…………… 4  
 奈良大和路案内図…………… 6  
 鑑賞の手引き（彫像の種類と技法・仏像の図と名称・  
 仏像の印相・屋根の形式・伽藍配置図）…………… 73～76  
 仏像鑑賞がおもしろくなる基礎知識…………… 77  
 奈良関係年表…………… 78～79  
 国宝（仏像・建造物）名勝・史跡 社寺施設別  
 一覧…………… 80～81  
 拝観・見学案内…………… 82～87  
 奥付…………… 88  
 奈良交通主要バス路線図…………… 裏表紙裏

物件紹介

●奈良北部…………… 7～36

地図 奈良公園…………… 8  
 興福寺…………… 13  
 佐紀・佐保…………… 23  
 平城宮跡…………… 23  
 西ノ京…………… 28  
 唐招提寺…………… 28  
 薬師寺…………… 31  
 あやめ池…………… 33  
 当尾の里…………… 34  
 矢田丘陵…………… 36

奈良公園…………… 10  
 奈良市総合観光案内所  
 奈良国立博物館…………… 10  
 奈良県立美術館…………… 11  
 依水園・寧楽美術館…………… 11  
 吉城園 漢国神社  
 氷室神社…………… 11  
 興福寺 世界文化遺産…………… 12  
 廃仏毀釈・神仏混淆  
 三条通・もちいどの・東向通…………… 12  
 石子詰伝承地 采女神社…………… 13  
 元興寺極楽坊 世界文化遺産…………… 15  
 ならまち 南都北嶺…………… 15  
 大安寺…………… 15

東大寺 世界文化遺産…………… 16  
 国分寺 お水取り 運慶・快慶…………… 17  
 古代寺院の伽藍…………… 18  
 正倉院…………… 19  
 シルクロード…………… 19  
 若草山…………… 19  
 奈良公園の鹿…………… 19  
 春日大社 世界文化遺産…………… 20  
 志賀直哉旧居 頭塔 瑜伽神社…………… 20  
 奈良市写真美術館…………… 21  
 新薬師寺…………… 21  
 白毫寺…………… 21  
 西大寺…………… 22  
 秋篠寺…………… 22  
 ウワナベ・コナベ古墳群…………… 22  
 法華寺…………… 24  
 海龍王寺…………… 24  
 よみがえる平城京 世界文化遺産…………… 25  
 （平城宮跡歴史公園）  
 平城宮跡の保全…………… 26  
 興福院…………… 26  
 不退寺…………… 26  
 般若寺…………… 27  
 奈良豆比古神社…………… 27  
 唐招提寺 世界文化遺産…………… 28  
 遣唐使…………… 29  
 戒律…………… 30  
 薬師寺 世界文化遺産…………… 31  
 仏教伝来…………… 32  
 大和文華館…………… 33  
 中野美術館…………… 33  
 松伯美術館…………… 33  
 岩船寺…………… 34  
 浄瑠璃寺…………… 34  
 海住山寺…………… 35  
 当尾の石仏群 恭仁京・難波京・信楽宮…………… 35  
 松尾寺…………… 36  
 大和民俗公園・奈良県立民俗博物館…………… 36  
 金剛山寺（矢田寺）…………… 36

●奈良西部…………… 37～48

地図 斑鳩の里…………… 38  
 法隆寺…………… 39  
 生駒…………… 44

当麻…………… 45  
 當麻寺…………… 46

法隆寺 世界文化遺産…………… 38  
 聖徳太子…………… 38  
 東院 中宮寺…………… 40  
 法輪寺…………… 41  
 法起寺 世界文化遺産 慈光院…………… 42  
 藤ノ木古墳 吉田寺…………… 43  
 宝山寺（生駒聖天）…………… 44  
 千光寺…………… 44  
 朝護孫子寺（信貴山）…………… 44  
 當麻寺…………… 45  
 竹之内街道…………… 45  
 綿弓塚…………… 46  
 葛城市相撲館けはや座…………… 47  
 石光寺…………… 48  
 香芝市二上山博物館…………… 48

●奈良東部…………… 49～58

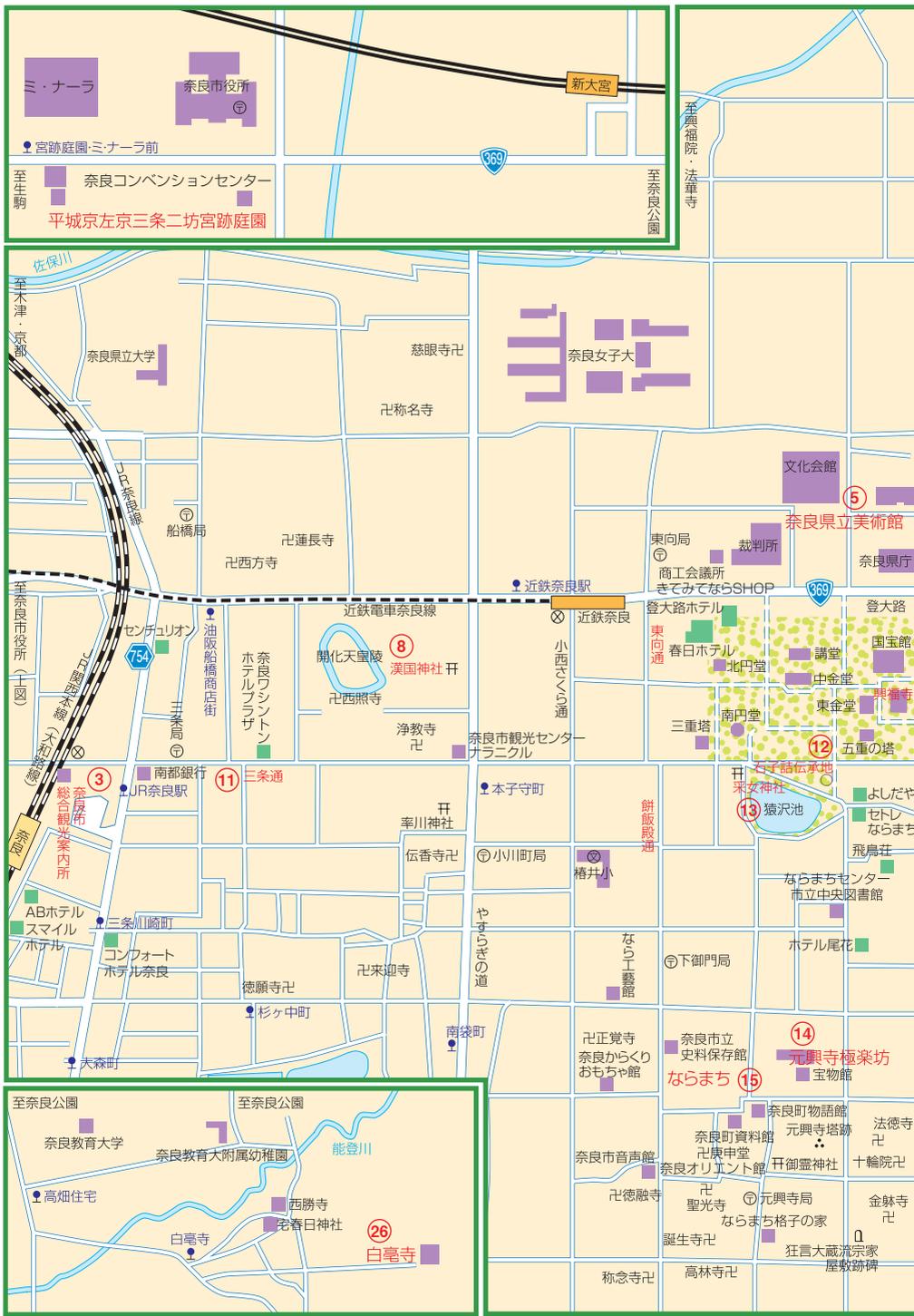
地図 山之辺の道①②…………… 50  
 多武峯…………… 54  
 長谷寺周辺…………… 56  
 室生寺周辺…………… 58

なら歴史芸術文化村…………… 51  
 天理大学附属天理参考館…………… 51  
 山の辺の道…………… 51  
 石上神宮…………… 52  
 長岳寺…………… 52  
 山の辺の古墳群…………… 52  
 三輪山と大神神社…………… 53  
 桜井市埋蔵文化財センター…………… 53  
 邪馬台国畿内説…………… 53  
 喜多美術館…………… 54  
 金屋の石仏・海石榴市…………… 54  
 安倍文殊院…………… 54  
 阿倍仲麻呂 橿原昆虫館…………… 54  
 聖林寺…………… 55  
 談山神社…………… 55  
 大化の改新…………… 55  
 長谷寺…………… 57  
 室生寺…………… 57  
 大野寺…………… 57

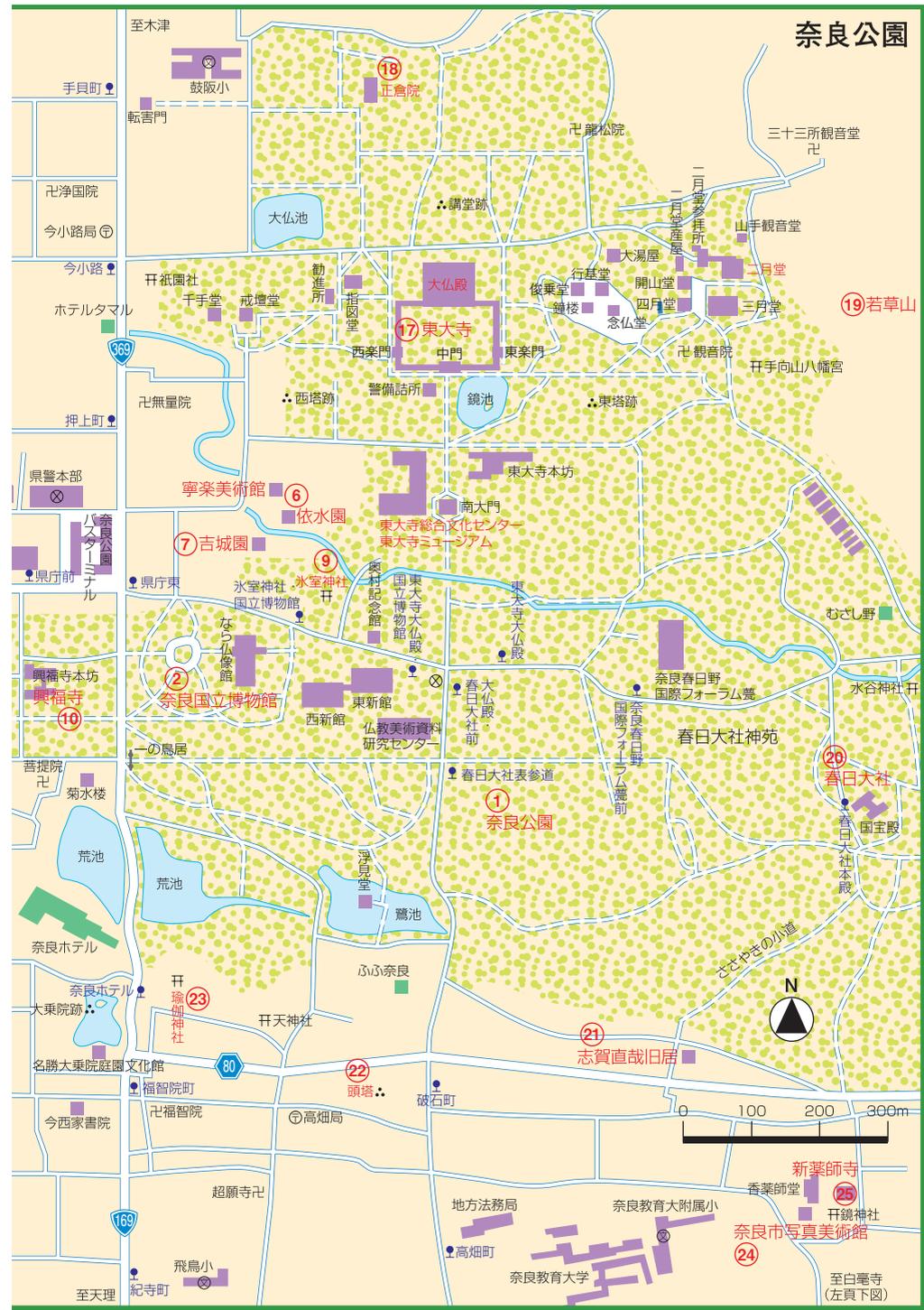
●奈良南部…………… 59～72

地図 今井町…………… 60  
 橿原公苑…………… 60  
 飛鳥…………… 61  
 吉野…………… 68

今井町…………… 60  
 橿原神宮…………… 60  
 久米寺…………… 60  
 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館…………… 60  
 藤原宮跡…………… 61  
 奈良文化財研究所…………… 62  
 藤原宮跡資料室…………… 62  
 奈良文化財研究所 飛鳥資料館…………… 62  
 飛鳥寺…………… 62  
 飛鳥坐神社…………… 62  
 岡寺…………… 63  
 橋寺…………… 63  
 山田寺…………… 64  
 高松塚壁画館…………… 64  
 甘樫丘…………… 64  
 飛鳥の遺跡と石造遺物…………… 64  
 石舞台…………… 64  
 キトラ古墳壁画体験館～四神の館～…………… 65  
 南法華寺（壺阪寺）…………… 65  
 飛鳥サイクリングマップ…………… 66  
 吉野山…………… 68  
 奈良市内・飛鳥からのアクセス…………… 68  
 金剛山寺（蔵王堂） 世界文化遺産…………… 69  
 修験道…………… 69  
 吉水神社 世界文化遺産…………… 70  
 勝手神社…………… 70  
 大日寺…………… 70  
 源義経…………… 70  
 櫻本坊…………… 71  
 竹林院…………… 71  
 如意輪寺…………… 71  
 天武天皇…………… 71  
 吉野水分神社 世界文化遺産…………… 72  
 金峯神社・西行庵 世界文化遺産…………… 72



memo 奈良八景／江戸時代のガイドブック『大和名所図会』『奈良のしるべ』には、奈良（南都）八景が紹介されている。南門堂の藤・猿  
 沢池の月・春日野の鹿・三笠山の雪・東大寺の鐘・雲井坂の雨・轟橋の行人・佐保川の蛭の8カ所、雲井坂と轟橋は今の県庁近く。



memo 鹿のテリトリー／大仏さんと並ぶ奈良のシンボル・鹿の生息数はおよそ千二百余頭。観光客に愛想を振りまく姿を見て、すべての鹿が人につ  
 こいと思うのは大間違い。人の訪れない春日奥山や若草山頂の鹿は野性味たっぷり。その彼らにもテリトリーがあって混住はしない。



奈良市総合観光案内所  
地図 P8③ 参照 P86

JR奈良駅のすぐ北隣にある奈良市の観光案内所。館内には、案内所はもちろん情報検索コーナーや奈良の伝統工芸品の展示などがある。レンガ造りの建物は、元々はJR奈良駅の駅舎。昭和9年に竣工した2代目で、寺院風の外観と鉄筋コンクリート造りの折衷様が面白い。

JR奈良駅の高架化に伴い破壊される所を、現在地まで回転・移動させて保存・再利用した。エントランス中央の平城京大極殿の柱の朱色が目を引く。



奈良公園

奈良公園



奈良公園 地図 P9①

奈良坂は、京都から奈良への入口である。昔から、山城と大和をつないでいた道である。この奈良坂を下っていくと、東大寺の大仏殿の大きな屋根が浮き上ってき、そして、興福寺の五重塔がそれに重なるように見えてくる。いまでは、このふたつの荘厳な古代建築の姿に、奈良県庁の近代建築のシンボルのような建物が重なり合ってみるが、そこは、もう奈良公園なのである。

JRの奈良駅を降りれば、三条通りを東へ。また、近鉄に乗って行けば、近鉄奈良駅の地下のホームから地上に出ると、そこはひろびろとした登大路で、若草山を背景にした奈良公園の目前に立っていることになる。

公園の中に、東大寺や興福寺、春日大社、奈良国立博物館などがある。この公園は、明治時代につくられたものだが、特別に囲いや塀で仕切られているわけでもなく、ちょっと、ふつうの公園というイメージとは違うのだ。人なつこい鹿が芝生に遊び、人家や旅館の立ち並ぶ道がおのずと古代の大伽藍へつながる。なにげなく歩いていると、ふと目の前に堂塔や大門が現われ、またそれが木の間に隠れる。いうなれば、奈良公園は、古代の歴史の厚みをもった自然公園なのである。

もともと、そこは、平城京の坊城の外にあって、奈良時代には「外京」といわれていた。平城京は、1300年の間にすっかり姿を変えてしまったが、外京はいまも、奈良公園となって、古代の姿をそこここに偲ばせてくれる。

奈良国立博物館 地図 P9② 参照 P85

東京・京都・九州と並ぶ4館しかない国立博物館のひとつ。天平文化発祥の地・奈良にふさわしい仏教美術の殿堂として知られ、「正倉院展」などの特別展は全国的にも有名。木造薬師如来坐像(写真)などの仏像群をはじめ、「紙本著色地獄草紙」「紫紙金字光明最勝王経」「刺繍釈迦如来説法図」など、館蔵のコレクションには彫刻・絵画・工芸・書とも国宝・重文を含む名品が多い。

1998年春には、全国初の免震陳列ケースの採



西新館 手前と東新館

用など耐震面にも配慮した東新館がオープン。従来の本館(なら仏像館)、西新館に加えて展示スペースも大きく拡大し、混雑の緩和、常設展示の充実、無料公開スペースの設置など一層親しみやすくなった。2002年には青銅器館も常設展示としてオープンしている。明治28(1895)年に開館した重厚な石造の本館(旧帝国博物館)は国の重要文化財に指定されており、展示室内の装飾も見どころのひとつである。

奈良県立美術館 地図 P8⑤ 参照 P85

吉川観方氏から寄贈された、歌川広重「名所江戸百景」をはじめ、鈴木春信・喜多川歌麿・東洲斎写楽などの浮世絵、染織・調度・武具など多数の風俗資料をもとに、昭和48年に開館した近世・近現代美術中心の美術館。現在ではこの「吉川コレクション」に加え、伝雪舟筆「山水図屏風」に代表される絵画・工芸品の「由良コレクション」、須田剋太など現代絵画や版画の「大橋コレクション」、地元出身の陶芸家・富本憲吉の作品等、館蔵品も充実しており、現代美術をテーマとした特別展も随時開催されて、幅広い層の美術愛好家に親しまれている。



葛飾北斎「瑞雲図」(奈良県立美術館蔵)

依水園・寧楽美術館 地図 P9⑥ 参照 P82

東大寺境内に隣接する池泉回遊式の大規模な日本庭園で、国の名勝にも指定されている。若草山や春日山の山容や、東大寺南大門などを巧みに借景とした、古都の風情の味わえる観賞庭園として名高い。園の入口左手にある寧楽美術館は、瓦屋根の印象的な落ち着いた建物。地元出身の実業家・中村準策氏のコレクションを基に設立されたもので、シルクロードの終着点・奈良にふさわしく、古代中国の青銅器や古鏡、高麗・李朝陶磁などのコレクションには定評がある。庭園と共通券で観賞できるので、気軽に訪れてみるといい。



依水園庭園と青磁象嵌双



吉城園 地図 P9⑦ 参照 P87

依水園の南に隣接する日本庭園で、かつての興福寺子院・摩尼珠院の跡地にあたる。大正8年(1919)に現在の建物と庭園が作られ、現在奈良県が所有し公開している。しっとり落ち着いたお庭で、四季折々の風情が楽しめるが、杉苔の美しい苔庭や秋の紅葉は名高い。



漢国神社 地図 P8⑧ 参照 P83

推古元年(593)創建されたといわれる。境内の林神社は、室町時代に中国から渡来し、日本に始めて饅頭の製法を伝えた林浄因を祀る。「まんじゅう祭」毎年4月19日。



氷室神社 地図 P9⑨ 参照 P86

見事なただれ桜が神社の前にあり、その時期と毎年5月1日に行われる氷室祭りがにぎやか。全国の氷業者が集まり、鯛と鯉を凍結させた高さ1メートル程の氷柱を奉納する。

廃仏毀釈・神仏混淆

仏教が伝来した時、既に日本特有の神が信仰されていた。やがてこれらは混ざり合って独自の姿に融合していった。これを神仏混淆という。幕末になった頃には神社と寺院は同居しており、仏像を神社のご神体とすることもあった。これらを神宮寺(別当寺・神護寺・宮寺など)という。

ところが明治維新の王政復古では、神道を国教として古代以来の神仏混淆を禁じた。結果、仏教の排斥運動がおこり、約7年間で全国の寺院の半分が廃寺となったという。これを廃仏毀釈という。



三条通 もちいどの 東向通 地図 P8 ⑩

三条通はJR奈良駅から猿沢池に通じる市街のメインストリート。春日大社へと続く参道にあたる。三条通から奈良町に向かうと、24時間TVでおなじみの「もちいどの商店街」がある。海のない奈良の地で工夫されたかまぼこ、さつま揚げの専門店、100余年の歴史を誇る「魚万」がある。

東向通は、近鉄駅前から三条通を南北に結ぶ老舗商店街。土産物店、飲食店、レジャー産業等、個性的で多様な店がある。奈良漬の山崎屋では、見た目にも豪華な茶粥御前が食べられる。

memo 興福寺に松はなかった?! / 現在の興福寺境内は奈良公園の一部となり、寺としてのまとまりに欠けている。松林・芝生・鹿が堂と堂の間を埋めているのも理由のひとつ。寺では境内復元を目指し、枯れた松の後は植えず、天平の姿に戻す計画。



興福寺五重塔

興福寺 世界文化遺産 地図 P8 ⑩ 参照 P73

登大路の県庁前を南へ、芝生の間をぬけて行けば、そこは興福寺の寺域だ。この寺は、まるで現在の平城京の運命を物語るように、数奇な波乱にみちた歴史をたどってきた。はじめは、藤原氏の氏寺として、山城に建てられた山階寺が、飛鳥に移され、平城遷都とともに、現在の地へ建てられたという。そして、藤原氏と皇室の関係が深まるにつれて、興福寺の力も強くなり、南都七大寺のひとつとして君臨した。

都が京都へ移されてからも、京都の延暦寺と対抗する力をもち、「南都北嶺」ということばさえ生まれたが、平安時代末期、平家が南都焼討ちを行い、興福寺の堂塔を焼払ったのが、最初の大きな波乱だった。

江戸時代には大火に見舞われたこともあったし、最も大きな打撃は、明治初年の廃仏毀釈運動だった。

それまでの日本は、何百年もの永い間、神社と寺院は同居して、神仏混淆の信仰が受け入れられていたが、明治維新とともに「神仏分離令」が布告され、日本中に仏教排斥の動きが起った。仏典や経典は捨てられ燃やされ、仏像や宝具が壊された。興福寺の五重塔も売りに出され、5円で買い受けた者がいた。ところが買ったものの、塔を壊してくずにするのに大変な手間や金がかかるので、買い主が困って放っておくうちに、仏教排斥運動の嵐もおさまって、五重塔は解体されずにすんだというのである。

そんな運命を象徴するように、現在の興福寺の境内も、松林の中に寂しげである。全盛期から比べれば10分の1の広さもなく、雄大だったと伝えられる南大門も、土壇と敷石を残すばかりだ。

現在の境内は、だいたい、登大路と三条通りの間にはさまれた部分だけで、南大門跡へは三条通りから入る。

有名な猿沢池は、三条通りの南、南大門跡の反対側にある。小さな池だが、水面はいつもおだやかで、散策の足をしばし留めさせる。見上げると、高く興福寺の五重塔がそびえている。池の水面に映る塔の影と、柳の織りなす情景も細やかで、美しい池である。昔、帝の寵愛を失ったのを悲しんだ采女が、この池に身を投げたという。この言伝えにちなんだ采女祭が、毎年9月に池の上でくりひろげられる。

興福寺中金堂



興福寺南円堂



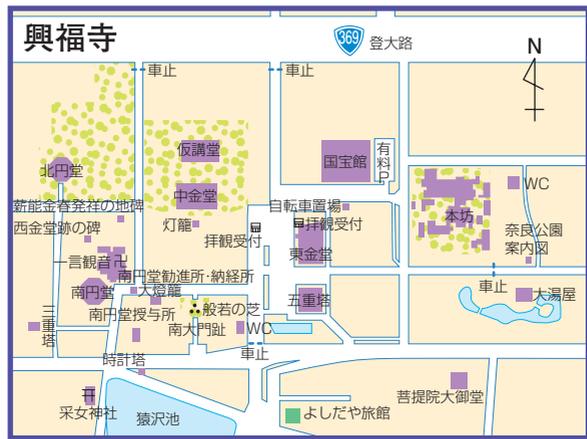
興福寺の建物には鎌倉時代のものが多い。それは、南都焼討ちのあとの再建(南都復興)の遺産である。

南大門跡の奥にある中金堂はおよそ300年ぶりの平成30年(2018)10月に再建されたものだが、葉王・葉上菩薩立像や大黒天立像、四天王像など中に納められている仏像は優れた鎌倉仏たちである。毎年1月1日~7日には厨子入り木造吉祥天倚像が開帳されている。

中金堂を西へ歩いていくと、草深い中から八角の形をした北円堂の姿が見えてくる。承元2年(1208)、鎌倉初期の力にあふれた建物である。運慶が作った弥勒仏坐像や無著菩薩・世親菩薩立像、四天王が安置されている。

北円堂から南円堂へ回る角に、「新能金春発祥の地」碑が立っている。そこを過ぎるとなんとなく人の気配が多くなる。南円堂は西国三十三カ所の第9番目のお札所なのである。南円堂の本尊は、不空羂索観音菩薩の坐像で、運慶の父康慶がつくったという鎌倉初期の木彫仏である。建物は寛保元年(1741)、江戸時代のもの。

南円堂の右わきには、お地蔵さんや観音様が祀られていたりするが、左の方のちょっと低い所には、三重塔が立っている。7月7日のみ内陣が公開され、初層の中央にある4本の柱(四天柱)にはX状に板が張られており、仏画も描かれている。五重塔の雄大な姿に隠れて目立たないが、美しい塔である。やはり鎌倉時代に再建されたものである。



memo 碧い眼だった阿修羅 / 興福寺国宝館に鎮まる阿修羅像といえ、数ある大和路の仏像の中でもっともときわめ人気が高い。美少年のようでも、美少女のようともいわれるが、美術館に残された塗料を分析し復元したところ、眼は碧く金髪、赤い肌の実形の神だった。



石子語伝承地 地図 P8 ⑩ かつては、鹿は春日大社の使いとされていた。神鹿を殺めれば、ともに穴へ入れられ、石を投げこむ「石子語」の死刑とされたという。興福寺の稚児の三作がその刑に処された地と伝えられる。

采女神社 地図 P8 ⑩

猿沢池のほとりにある鳥居を背にした珍しい後ろ向きの神社。自ら池に身を投げた采女の供養に建てられたが、見るに忍びない、一夜のうちに後ろ向きになったと伝えられる。



興福寺三重塔



山田寺跡

飛鳥の遺跡と石造遺物

地図P61 参照P76・77・75・74

飛鳥寺の南東の小高い丘の上にある酒船石は、厚さ1m、長さ5.3m、幅が一番広いところで2.27mという花崗岩でつくられた不思議な石造物。飛鳥時代につくられたものといひ、平たく削られた石の表面に溝や窪みがつけられていて、酒や油を絞る漚だったとか、いろいろ伝えられているが、いまだに定説はない。

伝飛鳥板蓋宮跡は、酒船石の丘を降りた田圃の中。皇極4年(645)、蘇我入鹿が暗殺された所。敷石や大井戸の跡に加えて、門や石敷、一本柱列跡なども発掘されており、飛鳥浄御原宮跡に比定する説もある。

伝飛鳥板蓋宮跡から飛鳥川を隔てて西側には川原寺跡がある。古代の伽藍配置の中で重要なひとこまを占める川原寺の遺構が、



石舞台

やまだでら 山田寺 地図P61・54⑫ 参照P87

国の特別史跡に指定されている山田寺は、いまはその跡地に小さな観音堂があるだけだが、7世紀の終わり頃には立派な伽藍を誇っていた。昭和57年(1982)秋に出土した東回廊と推定される木製連子窓や柱などの遺構に続き、平成8年(1996)には南回廊と建築物の遺構も発掘されている。現在では東回廊の出土部材のうち保存状態のよかった部分を飛鳥資料館にて展示し、法隆寺より半世紀も古い山田寺の威容を示している。

たがまつかへきかかん 高松塚壁画館

地図P61⑬ 参照P84

昭和47年(1972)に発掘された高松塚古墳は、その規模や出土品よりも、石室内に描かれた極彩色の壁画によって一躍全国的なブームとなった。保存のため石室内の見学はできないが、天井に描かれた星宿(星図)、四方を守るとされる四神、男女の群像など、古墳に隣接する高松塚壁画館で、その精密な複製をじっくり鑑賞することができる。

あまかしのおか 甘樫丘 地図P61⑭ 参照P82

高さ148mの小さな丘に登ると、遠く金剛山系から大和三山、藤原京、飛鳥京など大和国原の美しい風景が広がっている。

この丘の麓には蘇我蝦夷と蘇我入鹿の親子の邸宅があり、その権勢を誇っていたという。大化の改新以前のことである。近年、東麓から7世紀頃の建物跡が発見されており、邸宅跡でないかといわれている。

高松塚壁画(西壁女子群像)



いしぶない 石舞台古墳

地図P61・54⑮ 参照P82

岡寺の南の方には石舞台古墳がある。巨大な石が積み重ねられた横穴式石室の古墳である。30数個の岩の総重量は推定約2300トンで、一番大きな石で約77トンもある。飛鳥文化の壮大さと底深さを考えさせられる。この古墳はまた蘇我馬子の墓だともいわれている。

原寸大石室



古代ガラス製作風景



キトラ古墳壁画体験館~四神の館~

地図P61⑯ 参照P83

特別史跡キトラ古墳を周辺の自然環境や田園環境とあわせて一体的に守るとともに多くの人が飛鳥の歴史や文化、風土を味わい過ごせるよう整備された国営飛鳥歴史公園の1地区のキトラ古墳周辺地区に「キトラ古墳壁画体験館 四神の館」がある。ここではキトラ古墳や壁画について分かりやすく楽しく学ぶことができる体感型施設となっており、実物大のキトラ古墳の石室や壁画の精巧なレプリカ、4面マルチビジョンによる壁画の映像、飛鳥時代の生活をあらわしたジオラマ、シアターなどによる解説を楽しむことができる。

このほか飛鳥の歴史や自然と触れあうことができる体験プログラム(勾玉づくり、海獣葡萄鏡づくり、古代ガラス製作 ※有料・要予約)を行っている。※期間限定でキトラ古墳壁画の実物も見ることができる。(事前申込)

みなみほけじ つばさかでら 南法華寺(壺阪寺)

地図P61⑰ 参照P87

人形浄瑠璃「壺坂霊験記」で有名な千手観音が祀られている壺阪寺は、西国三十三ヵ所の6番目のお札所。創建は、大宝年間(701~703)か養老年間(717~724)といわれている。山深く高い嶺に、いまもバスや車を連ねてお詣りする人がひきもきらない。境内の、高さ20mの巨大な石造大観音像や長さ8mの涅槃像、釈迦の一生を描いた長さ50mのレリーフが参拝者の目を見張らせる。



亀石



鬼の雪隠



鬼の俎

くっきりと残されている。

岡寺の西方、橋寺の西には亀石がある。亀のうずくまったような形をした巨岩だが、平安時代の頃から亀石と呼ばれているという。何に使ったものかよく分からない。条理の境界線だともいわれている。ともかくこの石は少しずつ移動して、亀の顔にあたるどころが、東から南西へ次分回転したという。そして、これが西を向くとき、付近一帯は海になるといわれている。

この亀石の近くには鬼の俎、鬼の雪隠などという石造物がたくさんある。なかには、ほんとうに何のために使われたのか分からない大きな石があって、飛鳥古代人の文化の謎めいた一面をのぞくようだ。

# 屋根の形式



きりづま  
切妻造り



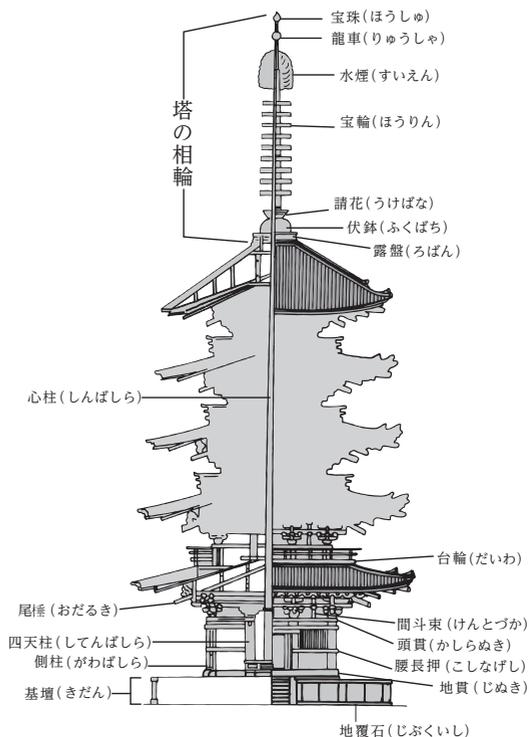
いりもや  
入母屋造り



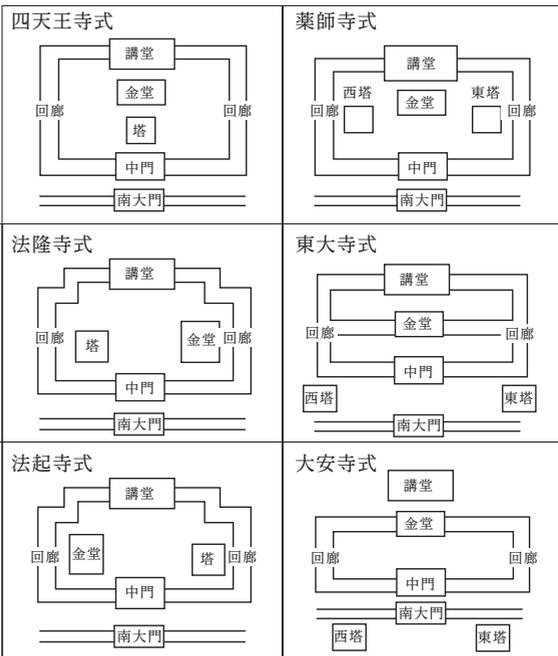
よせむね  
寄棟造り



ほうぎょう  
宝形造り



# 伽藍配置図



# 仏像鑑賞がおもしろくなる基礎知識

奈良が多数所有する国宝や重要文化財の仏像を鑑賞した際、基礎知識が少しあるだけで興味や理解が一層に深められます。72ページで各寺院がどんな種類の国宝の仏像を所有しているのか確認しながら見学しましょう。

## 仏像とは？

もともと仏教を開いた釈迦の姿を表したのですが、地域と時代によって仏像の様式などは変わっていきました。基本的には如来、菩薩、明王、天の4つに分類されています。

### ① 如来

悟りを開いた者。仏陀ともいう。当初は釈迦如来だけだったが、後に仏教の教義が多様化し、多くの如来が考え出された。全身を覆う一枚の衲衣を身に着けている事や、髪の毛が螺旋髪と呼ばれるぶつぶつである特徴があります。



法隆寺釈迦如来像

釈迦如来・・・仏教の開祖

例【法隆寺 (P38)、室生寺 (P57) など】

薬師如来・・・病を治してくれる医者。

例【奈良国立博物館 (P10)、薬師寺 (P31) など】主に奈良時代

阿弥陀如来・・・来世における幸福を約束してくれる

例【法隆寺 (P38) など】主に平安時代

大日如来・・・仏教の流れの一つ「密教」の世界の中心にいる

例【東大寺 (P16)、唐招提寺 (P28) など】

### ② 菩薩

如来に向けて、悟りを求めて修行している者。出家する前の在家の人間であったため、髪を豊かにたくわえ、宝冠や腕輪、首飾りなど装飾品をたくさん身に着けている特徴がある。



法華寺十一面観音立像

観音菩薩・・・慈悲の仏。一茎の蓮をもっているのが特徴

例【興福寺 (P12)、法隆寺 (P38)、法華寺 (P24)、聖林寺 (P55) など】

弥勒菩薩・・・やがて仏(如来)になることが決まっている未来仏

例【興福寺 (P12)、當麻寺 (P45) など】

地藏菩薩・・・大地を象徴する菩薩。右手に錫杖、左手に宝珠が一般的

例【法隆寺 (P38) など】

### ③ 明王

如来の使者であり、煩惱のとりこになっている人々を教化するため、恐ろしい顔つき(忿怒の相)でもって、屈服させ救済する。蛇、ドクロなどや、あらゆる武器を持っており、背中に激しく燃え上がる火が特徴的。

不動明王・・・大日如来の化身。右手に剣、左手に羂索(縄)を持ち、青黒色の全身に火焰を負う姿が一般的。

降三世明王・・・明王のナンバー2。過去、現在、未来の三世の煩惱を降伏させる。足でヒンズー教の神を踏みつけている。

### ④ 天

仏の教えに接してから仏教の守護者となった神々であり、現世利益的な信仰を集めるものも多数存在している。寺院の入口の門の両脇や、本尊の周辺、仏壇の周囲に安置されていることが多い。姿も様々で、鬼や妖怪なども属していることがある。



東大寺多聞天像

梵天・・・バラモン教の最高神のひとつだが、釈迦に帰依し仏法の守護神となる。基本、顔が四面ある。例【唐招提寺 (P28) など】

帝釈天・・・元々は英雄神インドラ。戦闘好きで酒好き淫乱といった人間味がある神で、衣の下に鎧を着込んでいる。象に乗っている姿もある。

例【唐招提寺 (P28) など】

吉祥天・・・数ある女神の中でも有名であり、毘沙門天の妻ともされている。美と富を象徴し、頭上に宝冠、宝珠を持っている姿が一般的。

例【法隆寺 (P38)、薬師寺 (画) (P31) など】

金剛力士・・・お寺の門の両脇で護衛をしている姿が見かけられる。口が開いている方を阿形、閉めている方を吽形といい、「阿吽の呼吸」の語源になっている。

例【興福寺 (P12)、東大寺 (P16) など】

十二神将・・・薬師如来の世界とそれを信仰する人々を守る大将。甲冑を着けた武将の姿で12体もの群像がそれぞれ個性的なポーズをとっている。

例【興福寺 (P12)、新薬師寺 (P21) など】

四天王・・・持国天、増長天、広目天、毘沙門天(多聞天)の4人。帝釈天に仕え、足で邪鬼を踏みつけている姿が大半。

例【東大寺 (P16) など】

阿修羅・・・八部衆の一人。戦闘神ともいわれており、三つの顔と六つの腕をもち、それぞれが違う表情をしている。

例【興福寺 (P12) など】

奈良社寺・文化施設一覧

奈良社寺・文化施設一覧

	名称	電話・所在地・交通・最寄	時間・休み	料金・所要分ほか	解説/地図
あ	秋篠寺 (あきののでら)	0742-45-4600 奈良市秋篠町757 近鉄「大和西大寺」駅北口から奈良交通バス「秋篠寺」(所要6分)、すぐ	9時半～16時半	高校生以上500円、中200・小100円 【所要時間】20分	22/22
	飛鳥資料館 (あすか)	0744-54-3561 高市郡明日香村奥山601 近鉄「橿原神宮前」駅東口から明日香周遊バス(赤かめ)で「明日香奥山・飛鳥資料館」(所要20分)、徒歩2分	9時～16時半(入館は～16時) 【休み】月曜(祝日の場合翌日)・12/26～1/3	大人350・大200円・中高小無料 【所要時間】40分	62/61・54
	飛鳥寺(安居院) (あすか(あんごいん))	0744-54-2126 高市郡明日香村飛鳥682 近鉄「橿原神宮前」駅東口から明日香周遊バス(赤かめ)で「飛鳥大仏前」(所要14分)、すぐ	9時～17時半(10～3月は～17時)※受付は15分前まで	大人350・中高250・小200円 【所要時間】20分	62/61
	飛鳥坐神社 (あすかにいます)	0744-54-2071 高市郡明日香村飛鳥708 近鉄「橿原神宮前」駅東口から明日香周遊バス(赤かめ)で「飛鳥大仏前」(所要14分)、徒歩5分	参拝自由	【所要時間】20分	62/61
	明日香村埋蔵文化財展示室 (あすかむらまいぞうぶんかざい)	0744-54-5600 (文化財課) 高市郡明日香村飛鳥225-2 近鉄「橿原神宮前」駅東口から明日香周遊バス(赤かめ)で「飛鳥」(所要9分)、すぐ	9時～17時(入館は30分前まで) 【休み】年末年始	入館無料 【所要時間】20分 旧飛鳥小学校の建物を利用。明日香村内出土遺物、キトラ古墳石室模型などを展示。村の文化財課で発掘している最新情報のスペースもある。	-/61
	国営飛鳥歴史公園館 (あすかれきしこうえんかん)	0744-54-2441 (飛鳥管理センター) 高市郡明日香村平田538 近鉄「飛鳥」駅、徒歩9分	9時半～17時(12～2月は～16時半) 【休み】4・7・11・12月の第2月曜日(祝日の場合は翌日)・12/29～1/4	入館無料 空想・目的地を紹介する写真パネルや立体模型、目のままでのルート・時間を検索できるタッチパネル、飛鳥に関する歴史をアニメなどで紹介。	-/61
	安倍文殊院 (あべもんじゅいん)	0744-43-0002 桜井市阿部645 JR、近鉄「桜井」駅、徒歩20分/「桜井」駅北口からコミュニティバス(所要7分)で「安倍文殊院」	9時～17時	④本堂拝観中学生以上700・小500円(抹茶・菓子付) ⑤霊宝館は中学生以上700・小500円(おまじりおみくじ、お守り付き) ④+⑤二ヶ所共通拝観券は中学生以上1200・小800円 【所要時間】30分	54/54
	甘樫丘 (あまかしのおか)	0744-54-2441 (飛鳥管理センター) 高市郡明日香村豊浦 近鉄「橿原神宮前」駅東口から明日香周遊バス(赤かめ)で「甘樫丘」(所要8分)、徒歩15分	見学自由	【所要時間】20分	64/61
	斑鳩文化財センター (いかるが)	0745-70-1200 斑鳩町法隆寺西-11-114 JR「法隆寺」駅から奈良交通バス「法隆寺参道」(所要8分)、徒歩7分	9時～17時(入館は30分前まで) 【休み】水曜(祝日や特別展の場合閉館)、12月28日～1月3日、他	入館無料 藤・木古墳の主な出土品のレプリカ(馬具類・刀剣類・装身具類・土器類)などが展示されている。	-/38
	率川神社 (いさむら)	0742-22-0832 奈良市本字守町18 近鉄奈良駅(4番出口)、徒歩7分/JR「奈良」駅、徒歩7分	9時～16時半	子守明神とも呼ばれ、古来より安産・育児の神として信仰を集める。奈良最古とされる恵比須様も祀られている。	-/8
石舞台古墳 (いしぶたい)	0744-54-3240 (飛鳥観光協会) 高市郡明日香村島庄133 近鉄「橿原神宮前」駅東口から明日香周遊バス(赤かめ)で「石舞台」(所要21分)、徒歩3分	9時～17時(受付は～16時45分)	一般300・高校生以下100円 【所要時間】20分	64/61・54	
依水園・掬家美術館 (いすいえん・くけいらく)	0742-25-0781 奈良市水門町74 近鉄奈良駅、徒歩15分	9時半～16時半(入園は～16時) 【休み】火曜(祝日の場合翌日)、12月末～1月中旬、9月下旬	一般1200・大高500・中小300円 【所要時間】30分	11/9	
石上神宮 (いそのかみ)	0743-62-0900 天理市布留町384 JR、近鉄「天理」駅、徒歩30分	5時半～17時半(季節により変わる)参拝自由	【所要時間】30分	52/50	
犬養万葉記念館 (いぬかいまんよう)	0744-54-9300 高市郡明日香村岡1150 近鉄「橿原神宮前」駅東口から明日香周遊バス(赤かめ)で「岡寺町」(所要28分)、すぐ	10時～17時(入館は～16時半) 【休み】水曜	入館無料 【所要時間】30分 「万葉風土学」を提唱した万葉集研究の第一人者犬養孝の記念館。犬養がいた万葉歌聖書や原稿などを展示し、さらにカフェテラスが併設されている。	-/61	
今井まちなみ交流センター・華蓋 (いまいはいないらか)	0744-24-8719 橿原市今井町2-3-5 近鉄「八木西口」駅、徒歩5分/JR「飯塚」駅、徒歩8分	9時～17時(入館16時半まで) 【休み】年末年始	入館無料 【所要時間】30分 江戸時代の町並みを残す今井町についての展示コーナー、伝統的な町家の外観などを鮮明な画像で紹介する映像シアター、また情報提供の図書閲覧室等がある。	-/60	
今西家住宅 (いまにしけ)	0744-25-3388 (今西家保存会) 橿原市今井町3丁目9-25 近鉄「八木西口」駅、徒歩10分	10時～17時(お昼休)※入館は16時半まで 【休み】月曜(祝日の場合次の平日)	高校生以上500・中学生以下250円 完全予約制(問合せは16時まで)	60/60	
今西家書院 (いまにしけいらいん)	0742-23-2256 奈良市福智院町24-3 近鉄奈良駅、徒歩15分/JR「奈良」駅・近鉄奈良駅から奈良交通バス「福智院町」(所要8分・4分)、徒歩3分	10時半～16時(入館15時半まで) 【休み】月・火・水曜・夏期・冬期休業/要確認	一般400円・高校生以下350円 室町時代の様式を伝える書院造りの建物。手入れされた庭を眺めながら抹茶がいただける(別途料金)。	-/9	
浮見堂(鷺池) (うきみどう(さざいけ))	奈良市高畑町 JR「奈良」・近鉄奈良駅から奈良交通バス「春日大社参道」(所要11分・5分)、徒歩5分	見学自由	奈良の時代からあるような雰囲気のある浮見堂は実は大正5年(1916)に建てられ、のち修復。8月15日はライトアップもされ、高円山の「奈良大文字送り火」の格好のビューポイント。	-/9	
ウワナベ古墳・コナベ古墳 (うわなべこなべ)	奈良市法華寺町宇和奈辺 JR「奈良」駅・近鉄奈良駅から奈良交通バス「航空自衛隊」(所要20分・13分)、すぐ	見学自由	日本古墳時代中期(5世紀)を代表する巨大な前方後円墳。東側が全長255mのウワナベ、西と回り小な西側がコナベで全長204m。	22/23	
大野寺 (おののでら)	0745-92-2220 宇陀市室生区大野1680 近鉄「室生口大野」駅、徒歩7分	8時～17時(冬季は～16時)	大人300・高校生以下無料 【所要時間】20分	57/58	
大神神社 (おおみわ)	0744-42-6633 桜井市三輪1422 JR「三輪」駅、徒歩5分	参拝自由 宝物収蔵庫は9時半～15時半(毎月1日・土曜・日曜・祝日)	大人300・高校生以下100円(宝物収蔵庫) 【所要時間】60分	53/50	
岡寺(龍蓋寺) (おかでら(りゅうがいでい))	0744-54-2007 高市郡明日香村岡806 近鉄「橿原神宮前」駅東口から明日香周遊バス(赤かめ)で「岡寺前」(所要28分)、徒歩10分	8時半～17時(12～2月は～16時半)	大人400・高300・中200円・小無料 【所要時間】30分 本堂内部の特別拝観は毎年4月～6月他	63/61・54	
鬼の俎・鬼の雪隠 (おにのまいたい・せっちん)	高市郡明日香村野口・下平田 近鉄「飛鳥」駅、徒歩15分	見学自由		64/61	

	名称	電話・所在地・交通・最寄	時間・休み	料金・所要分ほか	解説/地図
か	海住山寺 (かいじゅうせんじ)	0774-76-2256 京都府木津川市加茂町例幣海住山20 JR「加茂」駅から奈良交通バス「岡崎」(所要3分)、徒歩40分	9時～16時半		35/34
	海龍王寺(隅寺) (かいりゅうおうじ(すみでら))	0742-33-5765 奈良市法華寺北町897 JR「奈良」駅・近鉄奈良駅から奈良交通バス「法華寺前」(所要16分・9分)、すぐ	9時～16時半(特別公開は～17時) 【休み】8/12～17・12/24～31	大人500・高200・小100円 大人600・高300・小100円(特別公開時) 【所要時間】20分	24/23
	香芝市二上山博物館 (かしばしにじょうさん)	0745-77-1700 香芝市藤山1-17-17 JR「香芝」駅、徒歩12分/JR「近鉄下田」駅、徒歩8分	9時～17時(入館16時半まで) 【休み】月曜(祝日の場合翌日)・12/28～1/4	常設展示大人200・大高150・中小100円 令和6年4月より大人300円 【所要時間】40分	48/45
	橿原神宮 (かしはら)	0744-22-3271 橿原市久米町934 近鉄「橿原神宮前」駅(中央出口)、徒歩10分	6時～17時(季節により異なる) 宝物館は土・日・祝休日閉館の9時～16時(平日は10時～15時) 【休み】展示春期間(宝物館)	宝物館は大人300・大高200円・小学生以下無料 特別展は中学生以上700円 【所要時間】45分	60/60
	橿原考古学研究所附属博物館 (かしはらこうがく)	0744-24-1185 橿原市飯塚町50-2 近鉄「飯塚御陵前」駅、徒歩5分	9時～17時(入館は～16時半) 【休み】月曜(祝日の場合翌日)・12/28～1/4	大人400・大高300・中200円 ※特別展はプラス入館料が必要	60/60
	橿原市昆虫館 (かしはらしんちゅうかん)	0744-24-7246 橿原市南山町624 近鉄「大和八木」駅南出口からかしはら市コミュニティバスで「橿原市昆虫館」(所要30分)、すぐ	9時半～17時(10～3月は～16時半)入館は30分前まで 【休み】月曜(祝日の場合翌日) ※夏休み期間を除く・年末年始	大人520・大高410・中小及び4才以上100円 【所要時間】60分	54/54
	春日大社 (かすがたいしゃ)	0742-22-7788 奈良市春日野町160 JR「奈良」駅・近鉄奈良駅から奈良交通バス「春日大社本殿」(所要13分・8分)、すぐ/奈良交通バス「春日大社本参道」(所要11分・5分)、徒歩10分	参拝自由6時半～17時半(11～2月は7時～17時)本殿特別参拝は9時～16時※祭事ににより変更あり	本殿特別参拝は500円 【所要時間】90分	20/9
	春日大社国宝殿 (かすがたいしゃこくほうでん)	同上	10時～17時(入館16時半まで) 【休み】年4回の展示春期間	一般500・大高300・中小200円 【所要時間】30分	20/9
	春日大社神苑萬葉植物園 (かすがたいしゃしんえんまんよう)	同上	9時～16時半(入園は16時まで) 【休み】3月11日・月曜・12～2月は月曜(祝日等は翌日)	高校生以上500・中小250円	20/9
	葛城市相撲館「けはや座」 (かつらぎしむかうやしんえんはやざ)	0745-48-4611 葛城市常盤83-1 近鉄「当麻寺」駅、徒歩3分	10時～17時 【休み】火・水曜(祝日の場合は閉館)・年末年始	高校生以上300・中小150円	47/45
金屋の石仏 (かなやのせきぶつ)	0744-42-9111 (桜井市観光まちづくり課) 桜井市金屋 JR「三輪」駅、徒歩15分	見学自由		54/50	
亀形石造物 (かめがたせきざうぶつ)	0744-54-4577 (明日香村地域振興公社) 高市郡明日香村岡 近鉄「橿原神宮前」駅から明日香周遊バス(赤かめ)で「万葉文化館西口」(所要15分)、すぐ	9時～17時(12月～2月は9時～16時)※入場は15分前まで 【休み】年末年始・荒天時は閉場する場合あり	高校生以上300・中学生以下100円(文化財保存協力金) 湧水を受け流水・排水する不思議な石造施設遺構。祭壇の場では、とも。花崗岩の石塊を成形して亀の形を彫ったもので、甲羅部分を水槽状に加工している。小判型石造物もある。	-/61	
河合家住宅 (かわいけ)	0744-29-7815 (今井町並保存整備事務所) 橿原市今井町1-7-8 近鉄「八木西口」駅、徒歩8分	9時～16時半(12時～13時は休み) 【休み】不定休	無料(1Fのみ)	60/60	
元興寺(極楽坊) (がんこうじごくらくぼう)	0742-23-1377 奈良市中院町11 近鉄奈良駅、徒歩15分/JR奈良駅、徒歩20分/奈良交通バス「福智院町」、徒歩5分	9時～17時(受付16時半まで)	大人500・高300・小100円 【所要時間】30分 ※特別展開催時は大600円	15/8	
漢国神社(林神社) (かんこくじ(りん))	0742-22-0612 奈良市漢国町2 近鉄奈良駅、徒歩1分/JR「奈良」駅、徒歩10分	参拝自由6時～18時	【所要時間】10分	11/8	
岩船寺 (がんせんじ)	0774-76-3390 京都府木津川市加茂町岩船上門43 JR「加茂」駅から木津川市コミュニティバス「岩船寺」(所要16分)、すぐ	8時半～17時(12～2月は9時～16時)※受付は15分前まで	大人500・高400・小200円 【所要時間】40分	34/34	
喜多美術館 (きたびじゅつかん)	0744-45-2849 桜井市金屋730 JR線「三輪」駅、徒歩7分/近鉄「桜井」駅、徒歩15分	10時～17時(入館は16時半まで) 【休み】月曜・木曜(祝日の場合翌日)、夏休み、年末年始	常設展・特別展共で大人800・大高700・小200円(保護者同伴要)	54/50	
吉田寺(ぼくくり往生の寺) (きちでんじ)	0745-74-2651 生駒郡斑鳩町吉田1-1-23 JR「法隆寺」駅、徒歩20分/近鉄「高井」駅から奈良交通バス「竜田神前町」(所要15分)、徒歩5分	9時～16時	300円 【所要時間】15分	43/38	
キトラ古墳壁画体験館(四神の館) (しじんのやかた)	0744-54-5105 高市郡明日香村大字阿部山67 近鉄「飛鳥」駅から奈良交通バス(飛鳥キトラ線)で「キトラ」(所要5分・便所)、すぐ/近鉄「壺阪山」駅から徒歩12分	9時半～17時(12月～2月は～16時半) 【休み】年末年始	入館無料 【所要時間】60～120分 体験の型玉つくりは400円～、海鞘葡萄酒づくりは大人1500円・小型600円、古代ガラス制作は1000円※要予約	65/61	
金峯神社 (きんぶす)	0746-32-3012 (塔宮会) 吉野郡吉野町吉野山1651 吉野山ロープウェイ「吉野山」駅から徒歩120分	参拝自由 【休み】霧経隠れ塔は不定休	300円(霧経隠れ塔は別途料金) 【所要時間】60分	72/68	
金峯山寺(蔵王堂) (きんぶせんじ(ざおうどう))	0746-32-8371 吉野郡吉野町吉野山2498 吉野山ロープウェイ「吉野山」駅、徒歩10分	8時半～16時 【休み】なし	大人800・高600・小400円(楳杵本尊特別開帳期間は大人1600・高1200・小800円) 【所要時間】30分	69/68	
弘福寺(川原寺跡) (くわふくじ(かわはらでらあと))	0744-54-2043 高市郡明日香村川原1109 近鉄「橿原神宮前」駅東口から明日香周遊バス(赤かめ)で「岡崎」(所要18分)、すぐ	9時～17時 【休み】不定休	300円 【所要時間】20分	64/61	
久米寺 (くめで)	0744-27-2470 橿原市久米町502 近鉄「橿原神宮前」駅、徒歩6分	9時～17時(受付は～16時半) 【休み】無休	境内自由大人400・高200・小100円(本堂)、あじさい園は別途料金 【所要時間】20分(あじさい園20分)	60/60	
天理市立黒塚古墳展示館 (くづか)	0743-67-3210 天理市柳本町1118-2 JR「柳本」駅、徒歩5分/JR・近鉄「天理」駅北口から奈良交通バス「柳本」(所要15分)、徒歩5分	9時～17時 【休み】月曜(祝休日の場合翌日も休み)・祝日・年末年始	入館無料 【所要時間】30分 全長132mの古墳時代前期の前方後円墳。展示館では発掘調査時の竪穴式石室や、三角縁神獣鏡などの副葬品の配列を正確に再現。	-/50	
興福寺国宝館 (こうふくじこくほうかん)	0742-22-5370 奈良市登大路町48 近鉄奈良駅、徒歩7分	9時～17時(入館は～16時45分) 【休み】無休	大人700・高600・小300円(東金堂との共通券は大人900・高700・小350円) 【所要時間】興福寺全体で60分	12/8	
興福寺中金堂 (こうふくじちゅうこんどう)	0742-22-7781 同上 近鉄奈良駅、徒歩7分	9時～17時(入館は～16時45分) 【休み】無休	大人500・高300・小100円 【所要時間】興福寺全体で60分	12/8	
興福寺東金堂 (こうふくじとうこんどう)	0742-22-7781 同上 近鉄奈良駅、徒歩7分	9時～17時(入館は～16時45分) 【休み】無休	大人300・高200・小100円(国宝館との共通券は大人900・高700・小350円) 【所要時間】興福寺全体で60分	12/8	

※新型コロナウイルスの影響で拝観・見学停止や時間短縮・予約制など変更する場合がございます。詳しくは各社寺・見学施設WEBのご確認、お問合せをお願いします。  
※期間は季節・天候によって若干変わる場合があります。また、内容は各物件の都合等により、予告なく変更される場合があります。記載内容は2023年11月調査分のものです。

奈良の旅・問合せ先

Table with 2 columns: Contact information for various organizations in Nara, including tourism centers, associations, and transportation services.

著者プロフィール

木下長宏(きのしたながひろ) 横浜国立大学名誉教授

同志社大学文学部を卒業後、京都芸術短期大学(現 瓜生山学園 京都芸術大学)で美術史を教え、主に東アジア美術史を中心に、日本の近代から現代にかけての芸術上の諸問題を研究。その間、1980・81年には中国・敦煌石窟、1983～85年にかけてはフランスにおけるアジアと日本芸術に関する研究の成果等の調査研究を行う。

1998年4月、横浜国立大学人間科学部教授に就任。美術と文学の歴史を見据えた芸術思想史の研究をテーマに、幅広い学究活動に取り組んでいる。2005年定年退職。

●本書は、小社のロングセラーとして多くの読者からご好評をいただいている『散策&観賞奈良大和路編』に最新データを加味し、よりビジュアルで読みやすく再編集したものです。奈良・大和路の散策や、車窓のお供にご利用いただければ幸いです。

株式会社飛鳥園 飛鳥寺 財団法人飛鳥文化財団・高松塚壁画館 植田英介 岡寺 香芝市二上山博物館 春日大社 喜多美術館 近畿日本鉄道株式会社 興福寺 西大寺 桜井市教育委員会・桜井市埋蔵文化財センター 株式会社小学館 財団法人松伯美術館 聖林寺 新薬師寺 中宮寺 天理大学付属天理参考館 唐招提寺 東大寺 財団法人中野美術館 奈良県企画部文化観光課 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館 奈良県立美術館 奈良県立民俗博物館 奈良国立博物館 奈良国立文化財研究所藤原宮跡資料室 奈良国立文化財研究所平城宮跡資料館 奈良市経済部観光課 財団法人寧楽美術館 長谷寺 フォト・マツダ 法隆寺 法華寺 室生寺 薬師寺 財団法人大和文華館 吉野山観光協会 平城宮跡管理センター 飛鳥管理センター (順不同・敬称略)

奈良社寺案内 散策&観賞 奈良大和路編 最新版 定価600円(本体545円+税10%) 2024年1月1日 第1版第1刷発行 編著者/木下長宏、ユニプラン編集部 編集協力/編集制作室ヴァーユ 地図制作/村田工房 発行人/橋本良郎

発行所/株式会社ユニプラン 〒601-8213 京都市南区久世中久世町1丁目76 TEL.(075)934-0003 FAX.(075)934-9990 振替口座 01030-3-23387 印刷所/株式会社 プリントパック

ISBN978-4-89704-592-4 C2026

奈良交通主要バス路線図+明日香周遊バス(赤かめ)

